

# 未来につなぐ ごみの減量

私たちが生活する中で、必ず出るごみ。少しの意識と工夫で、ごみを減らすことも、新しい資源に生まれ変わらせることもできます。焼却処分などによる環境への負荷を減らし、次の世代に豊かな自然を引き継いでいくために、私たちにできることを考えてみましょう。

問い合わせ 住民環境課

## 共同で行うごみの処理

私たちの普段の生活の中で、毎日出る「ごみ」。

町内から出されたごみは、中間市、水巻町、芦屋町、遠賀町のごみと共に、遠賀町にある「遠賀・中間地域広域行政事務組合（以下「組合」）が共同処理しています。

家庭からごみステーションなどに出されたごみや拠点回収ボックスに出された資源ごみなどは、組合が運営する遠賀・中間リレーセンター（糠塚区）や中間・遠賀リサイクルプラザ（中間市）に集められ、分別されます。

分別された後、資源化できない燃えるごみは、北九州市内3カ所のごみ焼却施設に運ばれて焼却処分されています。資源化できるごみは、それぞれの種類に合わせた処理を行います。

令和4年度に町内から出されたごみは約8千500トン。1人当たり273kgのごみを出していることになります（表1）。

過去5年間を見ると、令和2年度をピークに減少しています。1人当たりの排出量も、令和4年度は、令和2年度と比べて15kg減少しています。

令和4年度に1市4町から出されたごみの量の合計は、約3万7千トン。岡垣町は2番目に

■岡垣町の過去5年のごみの排出量と1人当たりの年間排出量（表1）

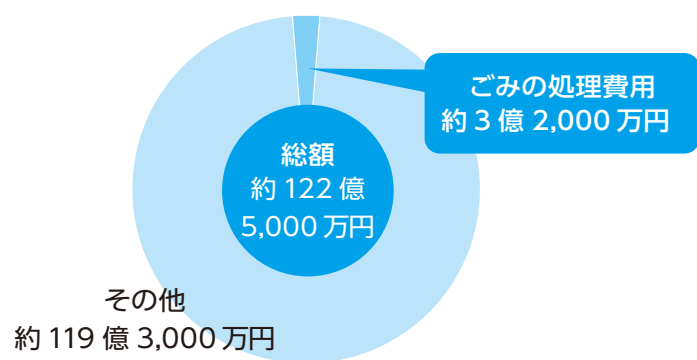
	排出量	人口	1人当たりの排出量
令和4年度	8,588t	31,502人	273 kg / 人
令和3年度	8,824t	31,623人	279 kg / 人
令和2年度	9,107t	31,569人	288 kg / 人
令和元年度	9,030t	31,670人	285 kg / 人
平成30年度	8,792t	31,626人	278 kg / 人

■令和4年度 組合構成市町別の年間ごみの排出量と1人当たりの年間排出量（表2）

	排出量	人口	1人当たりの排出量
岡垣町	8,588t	31,502人	273 kg / 人
中間市	11,243t	39,657人	284 kg / 人
水巻町	8,323t	27,778人	300 kg / 人
芦屋町	3,670t	13,012人	282 kg / 人
遠賀町	5,772t	19,031人	303 kg / 人
合計	37,596t	130,980人	287 kg / 人

排出量が多くなっていますが、1人当たりの排出量を比べると、1市4町の中で1番少ない結果になっています（表2）。

令和4年度岡垣町一般会計決算額



町の支出の約2.6%を占めるごみの処理費用

令和4年度の町の決算額は約122億5千万円でした。そのうち、約3億2千万円はごみの処理にかかる費用で、このほとんどが組合への負担金になっています。組合への負担金は、施設の維持管理費のほか、北九州市に対する燃えるごみの処理委託料や搬送費用などに充てられます。ごみの量が少なければ、これらの費用を削減でき、貴重な町の財源を別の用途に活用することができます。



▲中間・遠賀リサイクルプラザの展示販売

粗大ごみも同様に処理されますが、状態が良い家具などは、毎年中間・遠賀リサイクルプラザで再生品として展示販売されています。

燃えないごみは、遠賀・中間リレーセンターで、機械で細かく破碎した後、鉄やアルミなど、資源化できるものを選別します。残った可燃物は燃えるごみとして処理され、ガラスくずや陶器の破片など、どうしても処理できない不燃物は、戸切百合野区にある最終処分場に埋め立てられます。

燃えるごみは、遠賀・中間リレーセンターに集められた後、機械で圧縮し、搬送用のコンテナに詰め込まれます。そして、コンテナ運搬車によって、焼却施設のある北九州市まで運ばれ、処理されます。

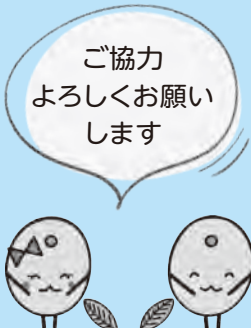
■燃えるごみ

■燃えないごみ・粗大ごみ

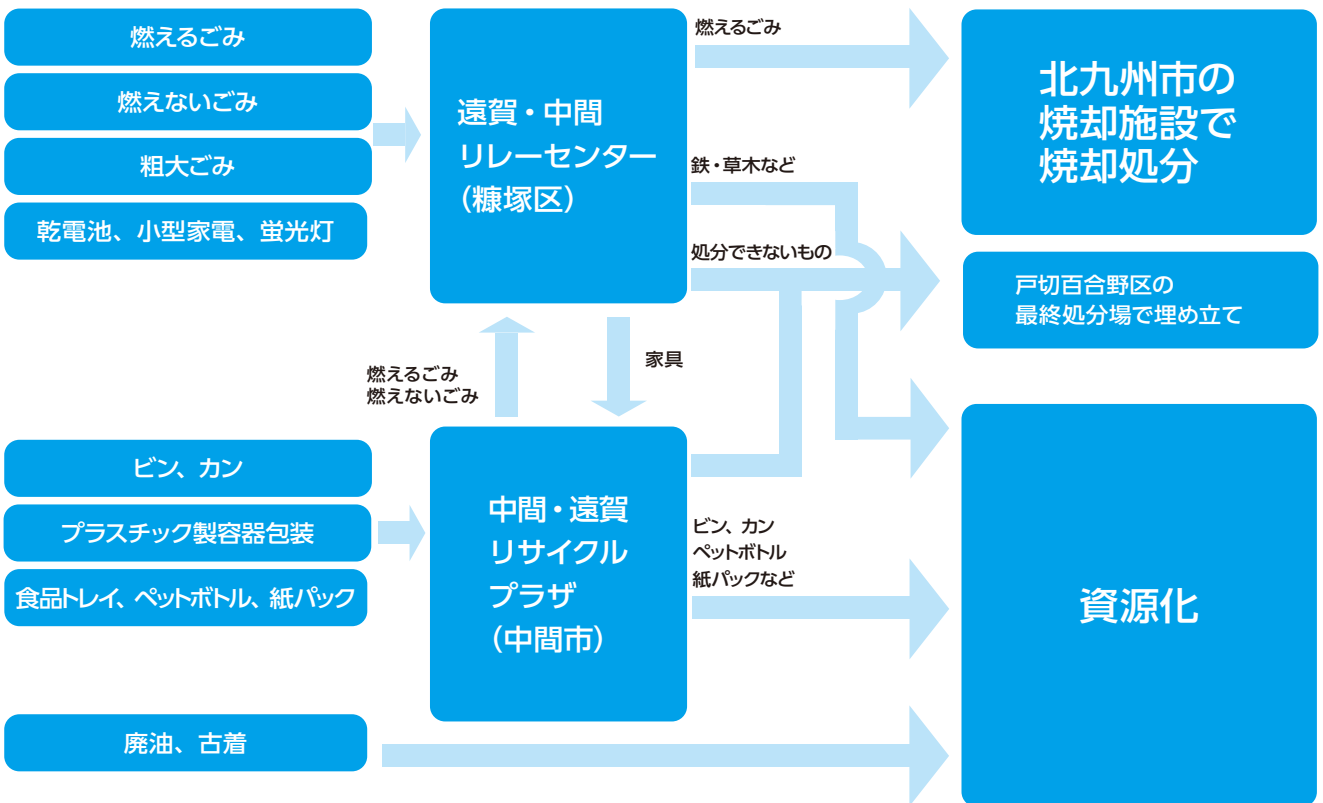
■資源化できるごみ

ビン・カンやプラスチック製容器包装、紙パックやペットボトルなど、資源化できるごみは、機械や手作業で適切に選別した後、リサイクル業者に引き渡しています。

資源ごみは、作業員が手作業で異物を除去し、選別しています。きちんと分別されず、刃物やライターなどが混ざっていると、作業員の怪我や設備の故障につながる恐れがあります。ごみを出す際は、正しく分別することを心掛けましょう。



ごみ処理の流れ



# できる！よりから少〜ごみ！ ごみの減量化・資源化のために、 私たちにできる！

ごみとして出す前に  
まずは資源物回収へ

町では、ごみの減量化・資源化の取り組みとして、資源物回収を推進しています。資源物回収では、新聞紙や紙パックなど特定のもの、回収し、トイレットペーパーなどを作る材料として再生利用します。令和4年度町内では、自治区やボランティア団体、文化・スポーツ活動団体など64団体が、多くの資源物を回収しました（左表）。  
ごみとして出す前に、資源物回収に出せないか、もう一度確認してみましょう。

## ▼資源物回収できるものと回収実績

回収品目	令和4年度 回収実績
紙類 (新聞・雑誌・ダンボール)	490 t
金属類 (アルミ缶・古鉄など)	21 t
布類	37 t
ビン	6,372 本

◀東倉区の資源物回収の様子



資源物回収を行う団体に  
奨励金を交付します

あなたの所属団体でも、資源物回収に取り組んでみませんか。  
**対象** 自治区やボランティア団体、文化・スポーツ活動団体など

### 奨励金

- 紙・鉄・布類 1kg当たり6円
- ビン類 1本当たり6円

生ごみを減らす

町から出されるごみのうち、84%は燃えるごみで、このうち50%を生ごみが占めています。ごみの減量化を考えるには、生ごみをどう減らすかがカギになります。  
■生ごみをたい肥にしよう

生ごみは、微生物の力でたい肥にすることができます。町では、たい肥にするための機材購入の補助や、たい肥化に気軽に取り組めるダンボールコンポストの販売・研修会などを行っています。ごみを減らしながら、野菜や花などを育ててみませんか。

### ●たい肥の機材購入への補助

**対象** 町内に住み、生ごみ処理容器や電動生ごみ処理機、発酵促進剤、ダンボールコンポストなどを購入する人

**補助額** 購入額の2分の1※電動式生ごみ処理機は上限2万円

### ●ダンボールコンポストの販売

**販売内容** ダンボール箱・機材・虫よけキャップなど

## 使い方を学びませんか

### ～ダンボールコンポスト研修会～

参加者には1世帯に1セット資材をプレゼントします。

- 対象** 町内に住んでいる人※未受講者優先  
**とき** 令和6年2月10日(土)午前10時～11時30分  
**ところ** 東部公民館  
**費用** 無料  
**定員** 20人※超えるときは抽選  
**申し込み** 1月31日(水)までに住民環境課

### ●昨年度研修会参加者の声

研修会をきっかけにダンボールコンポストを始めました。出来たい肥は育てている野菜が収穫できるといいなと思います。生ごみへの意識が変わり、ごみを出さない生活を心掛けるようになりました。



伊藤 久男 さん  
(海老津区)





▲役場に設置してある拠点回収ボックス

拠点回収ボックスは、町内の公共施設やスーパーなどに設置してあり、対象となるごみをここに投入することができます。無料で回収しますので、ぜひ利用してください。

拠点回収ボックスは公共施設のほか、設置場所の管理者などの協力を得て設置しています。他のものを入れたり、ものが散乱して周りを汚さないよう、きれいに使いましょう。

拠点回収ボックスを活用してください

食品トレイや紙パックなど、下の表にあるものは、資源化できるごみとして、町内にある拠点回収ボックスで回収しています。

拠点回収ボックスは、町内の公共施設やスーパーなどに設置してあり、対象となるごみをここに投入することができます。無料で回収しますので、ぜひ利用してください。

拠点回収ボックス設置場所などの一覧

回収できるもの	回収場所	注意点	資源化後の製品など
食品トレイ	役場、 中央・東部・西部公民館、 スーパーなど	汚れを落とす	プリンター
紙パック		汚れを落とす	トイレットペーパー
ペットボトル		汚れを落とし、蓋を外す	制服、卵のパック
乾電池		充電式は住民環境課へ	鉄製品
食用油（植物性）	中央・東部・西部公民館、 イオン岡垣店	天かすなどを取り除き、 ペットボトルに入れる	バスの燃料
小型家電（25 cm× 15 cm以下）	役場、東部公民館	-	金、銀、銅、レアメタル
蛍光灯	役場	割れているものは不可	ガラス製品、アルミ製品
古着	中央公民館、東部公民館	-	自動車の内装

**ごみ出しワンポイントアドバイス**

生ごみの80%が水分です。ごみを出す前に**ぎゅっと水切り**すれば、それだけで大きな減量に！

手で搾ることもできますが、専用の道具などを使えば、簡単に水切りができます。ぜひ試してみてください。

分ければ資源、混ぜればごみ、ごみは分別して出しましょう

分別は資源化の第一歩です。大切な資源がごみとして処分されないよう、正しく分別してごみを出しましょう。

出し方が分からないときは各家庭に配布している「家庭ごみ分別ガイドブック」や「ごみはこう出そう（パンフレット）」を参考にしてください。

※「家庭ごみ分別ガイドブック」や「ごみはこう出そう（パンフレット）」は町公式ホームページで見ることができ、ほか、住民環境課窓口で配布しています。

一人一人の意識が大切です

岡垣町のごみの排出量は、ここ数年は減少傾向にあります。さらなるごみ減量化・資源化に向け、引き続きごみの排出抑制に努めていきたいと考えています。

遠賀・中間地域広域行政事務組合では現在、皆さんによりの確な分別をしていただけるよう、家庭ごみ分別ガイドブックの大幅改定を進めているところです。来年度、皆さんにお配りできるよう準備をしています。

ごみの排出抑制のためには、皆さん一人一人の意識が大切です。組合や町、地域の取り組みなどを通して、今後ごみ減量化・資源化へのご協力をお願いします。



遠賀・中間地域広域行政事務組合  
業務第1課業務係  
係長 羽山 政年 さん